

No	住所	氏名	備考
1	尼瀬	元井 富士雄	地区推薦
2	尼瀬	石井 芳男	地区推薦
3	尼瀬	細木 吉代	地区推薦
4	尼瀬	小田島 正好	地区推薦
5	尼瀬	平田 利明	地区推薦
6	住吉町	海野 町子	地区推薦
7	石井町	安達 祐三	地区推薦
8	石井町	野崎 勝彦	地区推薦
9	羽黒町	佐々木 貞治	地区推薦
10	羽黒町	太古 誠一	地区推薦
11	羽黒町	高島 藤男	地区推薦
12	鳴滝町	石井 俊幸	地区推薦
13	鳴滝町	仙海 智子	地区推薦
14	木折町	内藤 実	地区推薦
15	木折町	石井 ミツ	地区推薦
16	住吉町	磯野 猛	
17	羽黒町	曾根 良子	
18	別ヶ谷	大谷 茂	監事
19	大門	仙海 直樹	
20	石井町	磯木 ヨシエ	
21	川西	田中 政孝	
22	石井町	関根 一洋	副会長
23	大門	磯部 友記雄	
24	木折町	長谷川 隆	
25	井鼻	渡辺 常侃	会長
26	住吉町	村越 隆夫	副会長
27	石井町	納谷 稔	
28	羽黒町	高坂 一弘	
29	井鼻	松永 信義	会計
30	鳴滝町	小林 等	監事

出雲崎妻入りの街並み景観推進協議会の総会を六月七日に開催し、前年度事業報告及び決算報告、今年度事業報告及び予算、役員について承認及び決定をいただきました。

前年度は、11軒の町屋を会場として「街並ギヤラリー」を開催、街並ギヤラリーを見学しながら歩いた「歴史の道ウォーク」、「空家・空地調査」などを行いました。

○先進地視察
街並みがきれいに整備されているところや、地域づくりや、街の活性化に熱心に取組んでいる所を視察に行きたいと思います。

○かわらばんの発行
かわらばん「妻入り」を年間三回発行（四・八・一月）
○歴史の道ウォーク
教育委員会との共催で今年も十月六日に行います。

推進協議会総会開催

かわらばん 妻入り

事務局
新潟県出雲崎町
教育委員会
0258-78-2250
FAX 78-4559

今年度の事業計画では、表札(屋号)、木の腰掛けを作製を計画している他、各グループの事業計画は、次のとおりです。

Aグループ

○空家・空地情報連絡調査
昨年に引き続き、調査を実施し

空地・空家が増えているので、その後の状況を把握していきたいと思します。

○おもしろ看板の設置
出雲崎の昔話を看板にし、地域の皆さんのもとより、散策に訪れた方々から楽しく『妻入りの街並み』を歩いていただける様にと今年度も看板を製作し設置する予定でいます。皆さんの知っている地域の昔話がありましたら、情報を寄せください。また、看板の設置場所を提供いただける方も合わせてお知らせくださいます様、お願いいたします。

○おもしろ看板の設置
出雲崎の昔話を看板にし、地域の皆さんのもとより、散策に訪れた方々から楽しく『妻入りの街並み』を歩いていただける様にと今年度も看板を製作し設置する予定でいます。皆さんの知っている地域の昔話がありましたら、情報を寄せください。また、看板の設置場所を提供いただける方も合わせてお知らせくださいます様、お願いいたします。

Bグループ

かわらばんグループ
かわらばん「妻入り」を年間三回発行（四・八・一月）
教育委員会との共催で今年も十月六日に行います。



海の出雲崎

自然豊かな出雲崎に赴任して

出雲崎小学校

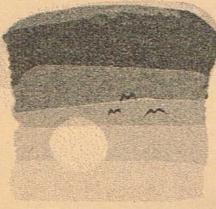
教頭 堀内 正藏

四月に赴任して、三ヶ月が過ぎました。毎朝、長岡市内の大島から、約三十分かけて通勤しています。中永トンネルを超えると、大きくて立派な出雲崎小学校の校舎が見えています。学校が地域のシンボルのように建っています。まさに地域の中心的存在の役割を担っていることをこの三ヶ月で、地域の皆様とのかかわりを通して感じました。

学校では、自然豊かなほなみが丘があり、子どもたちが毎日天気のよい日に自由に遊んだり、自然散策を楽しんでいます。こんな素晴らしい学校林をもつてているのは県内でも数校しかありません。今までの活動が評価され、全日本学校関係緑化コンクール「学校林等の部」で準特選をいただきました。全国一位ということになります。

低学年の子どもたちは、「全国二位のところで遊んでいるんだよね。」と、元気一杯ほなみが丘で遊んでいます。また、地産地消の取組が進んでおり、地元の魚や野菜を使った給食。教員生活約三十年、こんなにおいしい給食は、二校目です。給食のおいしい学校には、いじめや不登校はないと先輩から聞いたことがあります。

今、出雲崎町は注目されています。出雲崎小・出雲崎中で地産地消の取組を一層すすめ、全国に出雲崎町ここにありという意気込みをみせたいものです。出雲崎町の教員としてのプライドと責任をもつて、日々の教育活動に専念したいと思うこの頃です。



学校では、自然豊かなほなみが丘があり、子どもたちが毎日天気のよい日に自由に遊んだり、自然散策を楽しんでいます。こんな素晴らしい学校林をもつてているのは県内でも数校しかありません。今までの活動が評価され、全日本学校関係緑化コンクール「学校林等の部」で準特選をいただきました。全国一位ということになります。

「出雲崎に越して 良かつたです」

川西 本間 熱

私は見附、妻は小千谷市の生まれですが、二人共仕事で東京に出た者ですのでユーターン組

とも言えるでしょう。

私は良寛さまに惹かれていましたので、早速に「出雲崎良寛敬慕会」入れて頂きました。良寛さまに見識の深い方々にお近付きになりました。

以前にも何度か良寛遺跡を訪ねていましたが、改めて「妻入りの街並」を往時の賑わいを思い描きながら散策しますと、感慨深いです。

私達は野草を観察するのが好きでしたので、引越しの荷解きが終わると直に、地元の方に聞いた「良寛の古道」や「小木の城山」に出向きました。そこで、移転前の茨城では観られなかつたオオミミズ

ソウ（雪割草）、キクザキイチゲ、キクバオウレン等に巡り会うこと出来て大いに感動しました。

以降、カメラを携えて近くの山野を歩き回る日が続いています。

又、此方では魚や酒がとても美味しいことが嬉しいです。

「えご」は子供の時以来の懐かしさが有り、新鮮な魚の「浜焼き」は関東では口に出来ませんでした。

晩酌に味わう地酒は、どの銘柄も独特的の風味があつて、体調が心配されそうです。

他にも嬉しいことは沢山有つて、限られた紙面では語り尽せません。

これから生涯に悔いが残らぬよう、暖かい気配りをお持ちの地域の皆さんとのお付き合いを大切にしながら、体調にも気を配り、日々の生活を楽しんで行きたいものです。

豊な歴史遺産の恵みの中で過ごして来られた皆さんからは色々と教えて頂きたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願ひ

街なみ修景しませんか?

街なみ修景助成金事業が
スタートしました

出雲崎町役場 建設課

助成条件等については、次のとおり
となっています。

○助成の対象物件

- ・道路（旧北国街道）又は、通路（私道を除く）に面した建築物及び敷地であること。

平成16年から工事を進められて
きました「街なみ環境整備事業」で景
観舗装も少しづつ進歩し、街なみの装
いも変化してきました。

また、かねてより要望のあつた「妻
入りの街並みの保存と修景」を目的と

して住宅などの修景整備に対する助
成金制度「街なみ整備助成金交付要
綱」を平成19年4月1日から施行を
しています。

この制度は住宅や店舗、倉庫等の新
築や増改築はもちろん、外壁の張り替
え、塗り替えや瓦の葺き替えなどに併
せて修景を行うことができます。

施行から約4ヶ月が経過し、何件か
の問い合わせが寄せられ、現在、住宅
修景が1件、外構に関する修景が1件、
合計2件の修景が行われています。

詳しく述べのあつた中には、「条件
が細かい、厳しい」などのご意見もあ
りますが、より良い街なみ保存のため
の取り組みにご理解をお願い致しま
す。

- ・新築及び増改築をすること。
- ・前述以外で、歴史的な街なみに調
和した建築物と認められるもの。
- ・形状が妻入りである又は妻入りに
地であること。

○助成の基準

・下記 基準表による。

○助成金の額

- ・約133万円を上限として工事費
の3分2の助成金を交付します。

建築設備等修景

- (1) 目隠しは木製とする。景観に配慮した
形状にする。
- (2) 塗装する場合は茶系又は黒系とする。

屋根

- (1) 切妻型とし、妻入りとする。
- (2) 瓦は和瓦葺きで黒又は銀黒とする。

<整備イメージ>

外壁

- (1) 道路に面した部分と、側面の一部を対
象とする。また、将来的にも側面部が
隠れない場合も対象とする。
- (2) 外壁は下見板張り、若しくはたて羽目
板張りとする。
- (3) 塗装の場合は茶系又は黒系とする。

階数

- (1) 道路に面するところは二階建て以下とする。
- (2) パラボットの修景は助成対象外とする。(撤去
は対象とする)

門・塀、柵

- (1) 木製の構造とする。高さは門2.5m、塀・
柵1.6mを基本とする。
- (2) コンクリート塀を覆う場合は、板塀とする。

雁木

- (1) 設置が望ましい。
- (2) 新規に設置する場合も助成の対象とする。

項目	助成の基準等
その他	色彩修景

○助成の基準等

道路に面した部分を対象とする。

全部を対象とする。
ただし、外壁等が修景されてい
ない建物で屋根のみの整備は認め
ない。

道路に面した部分及び側面の一部を対
象とする。ただし、建具等が修景されてい
ない建物で建具のみの整備は認め
ない。

道路に面した部分及び側面の一部で景観
を阻害している給排水設備、空調設備、
電気設備又は看板等に係る陽い若しく
は修景を対象とする。ただし、外壁等が
修景されない建物で建築設備のみの
整備は認めない。

道路に面した部分で門、塀、柵または舗
装等の外構施設に係る修景を対象とす
る。

道路に面した部分及び側面の一部で、外
観の色彩が周辺と不調和な建築物（工作
物等含む）や外構施設等に係る色彩の修
景を対象とする。ただし、屋根について
は全部を対象とする。

土倉造りの建築物、雁木の復元、町内会
が行う街灯、ごみ箱の修景など、街並み
の景観形成において特に町長が必要と
認める整備

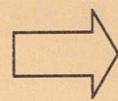
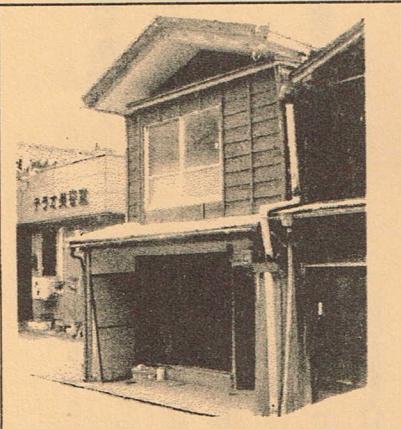
修景後

修景第1号 高桑勝一郎様宅 (木折町)

修景前

外壁と屋根の塗装(茶系)

サッシの取替と目隠し



雁木の内部の修景

雨とい等の修景

木製建具への取替と目隠し

土間コンクリート(洗出し)の修景

あなたの家をふると新潟で
育った杉で建ててみませんか！

新潟県では、「ふるさと越後の家づくり事業」として、越後杉ブランド(県産スギ製品)を使用した安全・安心な住宅の建設に対し、補助金を支給します。

〈補助金支給の条件〉

○住宅の延べ床面積が 70m^2 以上 280m^2 以下で、越後杉ブランドを延べ床面積 1m^2 当たり 0.07m^2 以上使用すること。

〈申請者〉

○県内に事業所を有する大工・工務店が建築主に代わり申請します。

〈補助内容〉

- 新築・改築・増築の場合は、 50万円
- さらに、定住促進として建築主が若者やU-I-Jターン者は左記の内容に該当していれば 10万円 が加算されます。

〈定住促進加算の対象〉

- ① 若者の場合
 - ・申請年度の4月1日現在の年齢が満35歳未満の者

② U-I-Jターン者の場合
次のいずれかに該当

・申請年度の4月1日から

らさかのぼり3年前の4月1

日以降に新潟県に転入した者

・現在新潟県以外に居住する

もので、新潟県内に居住用住居を建築し居住を予定する者

〈募集の期間〉

○年4回の募集がありますが、今年度は**8月1日～9月14日**が最後の申請期間となります。

※申請を希望される場合は、納材前に申込みを行い、認定を受けてください。(なお、認定者多数の場合は抽選となります。)

〈越後杉ブランドとは〉

- 県が定めた品質・性能基準を満たす県産スギ製品です。
- 新潟県木材組合連合会が認定した「越後杉ブランド認定工場」で生産し、品質が明確で狂いが少ないことを特徴としています。

お申込み
・問合せ先

長岡地域振興局

農林振興部 林業振興課
TEL 0258-338-2572

おもしろ看板紹介

「ぬたうなぎの話」

出雲崎味の風物詩（その二）

ぬたうなぎは分類学上は円口類
と言う一類一品種の珍動物です。

表皮より多量の粘液を出すので此の呼び名がありますが、眼が退化して皮膚の下に埋没しているため“めくらうなぎ”とも呼ばれ又体側にある七対の鰓孔と眼孔とを合わせてヤツメ（八ツ目うなぎとは別）とも呼ばれています。山口県の萩ではドロボウ網にかかった他の魚の体内に入り込んで食い荒らす小田原ではわたもく、館山ではべと等その地方によつて呼び名も多岐に別れますが食用には余り用いられて居りません。

出雲崎ではその歴史と風土に根ざした生活の知恵に依りこの“ぬたうなぎ”を見事に夏の珍味として結実させました。出雲崎独自の呼び名と調理法に依る此の食品はア

ナゴの浜焼きと云います。

（注）寿司種のアナゴは別種の魚です



北國街道

歴史の道ウォーク

参加者募集

風情のある街並、出雲崎の歴史の話を聞きながら、歴史の道を歩いてみませんか。

出雲崎を再発見でき、健康的に歩くことができる、この機会に家族や友達で思い出を作りに参加してみませんか。

開催日は、十月六日（土）を予定しています。時間やコースなど詳細につきましては、後日案内いたします。

出雲崎の街並を散策する歴史の道ウォークをお楽しみに！

○参加費は無料です。

○総合大学の学生の方は、学生証をお持ちください。

○ウォーキングですので、動きやすい服装で楽しんでください。

○タオル、飲み物なども忘れずに持ちください。

あとがき

まだまる三年経つて無いといでのにまた大地震が新潟県中越地方を襲いました。前の地震より搖れがら動くことさえ出来ませんでした。この地震により被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早くライフレイジンが復旧することを願うばかりであります。また、いつ来るともしれない余震に不安がつのりストレスが貯まってしまうようです。しかし、永遠に続くわけではありません。少しづつではありますが復旧作業も始まりました。こういう時こそ皆様の協力が必要になります。町民いちがんとなつて助け合いましょう。

この原稿を書いたのは地震発生五日後です。元気を出して頑張りましょう。

石井町

納谷 稔